主要な発生源の種類とこれまでの施策について

1. 大防法に基づく固定発生源対策

発生源の種類				PM	VOC	SOx	NOx	NH ₃
人為	燃料の燃焼	エネルギ供給	電気、地域熱供給、都市ガス製造	0	0	0	0	0
		産業	農•林•水産業、鉱業、建設業	0	0	0	0	
			製造業	0	0	0	0	0
		民生	家庭、事務所等	0	0	0	0	
	廃棄物焼却		理施設、産業廃棄物処理施設	0	0	0	0	
		小型焼却炉		0	0	0	0	
/\/mg	農業	野焼き		0	0	0	0	
固定		畜産						0
巴化		肥料施肥					0	0
	生活		吸、浄化槽、ペット犬					0
		喫煙		0	0	0	0	
		調理		0				
	他		学品製造、溶剤使用等		0			
		肥料製造						0
	航空			0	0	0	0	
人為	自動車	走行時		0	0	0	0	0
		駐車•停止時			0			
移動	作業用機械	建機、産機、農	農機	0	0	0	0	
	船舶			0	0	0	0	
自然	植物			0				
	土壌			0				0
	火山			0		0		
	海塩			0				

- ・都市大気への影響が大きいと考えられる発生源を中心に記載している
- ・発生源の種類分類は今後見直し予定

2. 移動発生源対策

│ :大防法に基づく自動車単体対策、オフロード注	に基づく	排出ガス対策の対象
:自動車用燃料の品質の強化の対象		:自動車NOx•PM法の対象
: 航空法に基づく排出ガス対策の対象、海洋汚	染及び海	上災害の防止に関する法律に基づく排出ガス対策の対象

発生源の種類					VOC	SOx	NOx	NНз
人為	燃料の燃焼	エネルギ供給	電気、地域熱供給、都市ガス製造	0	0	0	0	0
		産業	農•林•水産業、鉱業、建設業	0	0	0	0	
			製造業	0	0	0	0	0
		民生	家庭、事務所等	0	0	0	0	
	廃棄物焼却	一般廃棄物処	理施設、産業廃棄物処理施設	0	0	0	0	
		小型焼却炉		0	0	0	0	
八师	農業	野焼き		0	0	0	0	
固定		畜産						0
凹足		肥料施肥					0	0
	生活	人の発汗、呼	吸、浄化槽、ペット犬					0
		喫煙		0	0	0	0	
		調理		0				
	他	燃料蒸発、化!	学品製造、溶剤使用等		0			
		肥料製造						0
	航空			0	0	0	0	
人為	自動車	走行時			0			0
		駐車·停止時			0			
移動	作業用機械	建機、産機、農	農機		0			
	船舶			0	0	0	0	
自然	植物				0			
	土壌			0				0
	火山			0		0		
	海塩			0				

- ・都市大気への影響が大きいと考えられる発生源を中心に記載している
- ・発生源の種類分類は今後見直し予定

3. 全体(固定発生源・移動発生源)

:これまでの施策で排出抑制策が実施されているもの

		発生源	の種類	PM	VOC	SOx	NOx	NH ₃
	燃料の燃焼		電気、地域熱供給、都市ガス製造	0	0	0	0	0
		産業	農•林•水産業、鉱業、建設業	0	0	0	0	
		民生	製造業 家庭、事務所等	0	0	O		0
	廃棄物焼却	, · · ·	理施設、産業廃棄物処理施設		0			
人為		小型焼却炉	生活战、是不况不 仍是生活战		Ö			
	農業	野焼き		0	0	0	0	
固定		畜産						0
凹化		肥料施肥					0	0
	生活		及、浄化槽、ペット犬					0
		喫煙 調理		0	0	0	0	
	他		学品製造、溶剤使用 等	U	ГО			
		肥料製造	1					0
	航空			0	0	0	0	
人為	自動車	走行時						0
	** - No Lete 1 15	駐車・停止時	100	999997 or 499999		100007 10 100000	8888887 0. 488888	
移動	作業用機械	建機、産機、農	と機		0		0	
	<u>船舶</u> 植物			0	0			
自然	土壌			0	O			0
	火山			Ö		0		
	海塩			Ö				

- ・都市大気への影響が大きいと考えられる発生源を中心に記載している
- ・発生源の種類分類は今後見直し予定

4. 今後の進め方

第4回専門委員会(26年11~12月)

既存の施策による排出 削減効果の整理結果 PM2.5排出インベントリ の更新 環境研究推進費等 による越境汚染寄与 率の推計結果 軍の推計結果

既存の施策の評価

- ・排出抑制策が措置されていない発生源・対 象物質は何か
- ・追加的な対策を講じる余地のある発生源・対象物質は何か等

PM2.5寄与割合の定性的評価

- ・寄与率が高いのはどの発生源か
- ・不確実性が大きいのはどの発生源か
- ・越境汚染の寄与率はどの程度か

第5回専門委員会(27年1~2月)

国内排出抑制策の在り方の検討(中間取りまとめ)

⇒中間取りまとめを踏まえ国内対策を具体化するとともに、27年度以降も継続的に、発生源情報の整備、二次 生成機構の解明、シミュレーションモデルの構築等を進めていく。